


2月 いただきます～す!

今年度もあと少しとなりました。年度初めに比べて食べられなかったものを食べられるようになったり、新たな食べ物に挑戦したりなど、毎日の給食を通して子どもたちの成長を感じています。

ひまわり組さんにとっては卒園まで残すところあと1ヶ月。園生活も終わりに近づいてきていますね。3月はそんなひまわり組さんのリクエスト献立になっています。メニューについているひまわりマークを探してみてください。

いしはらでの給食が思い出の一つになってくれたら嬉しいです。

2月の行事食

バレンタインランチ

ツナサンド

クリームシチュー

りんごサラダ



幼児さんはツナサンドをカットしてハート型にしました。クリームシチューにはハートのマカロニが入っていて、全部で3色ありました。全て発見することができたでしょうか？

乳児さんはこちらハート型に抜いたハムをツナサンドに飾り付けました。

畑の野菜

いしはらの畑では、キャベツに白菜、ブロッコリーとたくさんの野菜が穫れていて、中華スープ、すまし汁、サラダにシチューと様々な給食のメニューにとり入れています。



節分ってなに？



節分の由来

中国から伝わった旧暦が元になり、日本には立春、立夏、立秋、立冬といった季節の分かれ目があります。節分はこのうちの冬から春に変わる節目である立春の前日のことです。立春は旧暦では一年の始まりだったため、その前日の節分は特に大切にされてきました。

普通、節分は2月3日とされていますが、今年は2月2日だったことをご存知ですか？実は節分が2月2日になるのは1897年以来124年ぶりだそうです。また、今までに節分が2月4日である年もあり、それは1984年以来37年ぶりだそうです。

どうして節分の日が2月3日でなくなるのかというと、「立春の日」がずれてしまうからです。立春の日が早くなったり、遅くなったりすると、立春の前日である節分も自ずと変わります。今年は立春が2月3日、節分は2月2日ということになります。

鰯と柊



節分には柊の小枝に焼いた鰯の頭を付けて玄関に飾る風習があります。この風習は日本古来のもので、広まったのは江戸時代であると言われています。それぞれの意味として、柊の棘で鬼の目を刺し、鰯を焼く臭いで鬼を追い払うという意味があります。また、今でも鰯料理を食べる地域もあります。給食でも2日の献立に、鰯の梅風味揚げをとり入れました。

幼児クラスにお話に行きました！

2月1日・2日の2日間、節分のお話をしに幼児さんにお邪魔しました。

実際に鰯を焼いて、そのときにどんな臭いがするのか体験してもらい、それと同時に鰯を焼いたときに出てくる煙も見てもらいました。

「これで悪い鬼を追い払うんだよ」というお話を子どもたちは真剣に聞いてくれていましたよ。

また、食べ物の栄養についてのお話にも興味津々で、意欲的に参加してくれていました。

